

二〇一八年四月六日

野仏へ容赦なく降る桜しベ
ケールカー窓いっぱい花の雲
城壕の水を埋む花の屑
研修を終へたる窓の花は葉に
ふらここを漕ぐたびポニーテール揺れ

二〇一八年四月五日

本丸は子どもらの基地樟若葉
米寿の吾寿ぐごとく初燕
ボート漕ぐオール花屑まみれかな
逆上がり繰り返す子へ花吹雪
コンビニの花見弁当大人気

二〇一八年四月四日

競ひあふごとくに芽吹く森の木々
久闊のふるさと訛り花筵
大和路の石仏たちへ花吹雪
花の窓選びて図書を閲覧す

二〇一八年四月三日

自転車を降りて歩かん花堤
波騒ぐごとくに風の雪柳
花菜畑より現はるる路線バス
花屑を流す川面の水の綺羅
ままごとの小さき籠につくし摘む
白雲に消え入るごとく鳥帰る
舟波に片寄せらるる花筏

はく子

なおこ

さつき

せいじ

こすもす

なつき

三刀

智恵子

こすもす

満天

明日香

こすもす

治男

たか子

さつき

ぽんこ

宏虎

うつぎ

たか子

愛正

はく子

二〇一八年四月二日

せせらぎの音微かなる山桜
柔らかき土が大事や菊根分け
な踏みそ萼花拳ぐ石畳
連写するシャッター音や花吹雪
山腹に斑をなせる桜かな

二〇一八年四月一日

雲散らすごとく中腹の山桜
其方此方で名刺交換花筵
花筏川の淀みに渋滞す

二〇一八年三月三十一日

其処此処に伽藍の薔花の雲
花の風サリーの裾をなびかせて
みはるかす生駒金剛花の雲
飛び石がカメラポイント花堤
川の字に寝ころんで笑む花筵

あさこ

ともえ

もとこ

明日香

あさこ

せいじ

さつき

たか子

うつぎ

葉々

はく子

明日香

よし女

毎日句会みのる選・二〇一八年四月八日